

法政大学の分別廃棄の流儀を守って

# 楽しいキャンパスライフ 大作戦



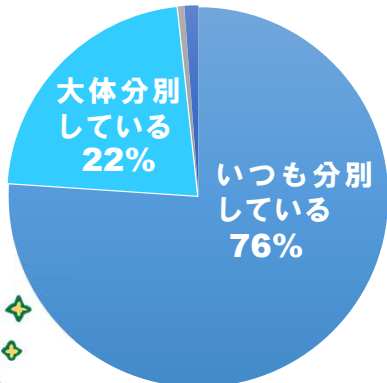
関連するSDGs



## 2019年度環境目標

市ヶ谷・多摩・小金井キャンパスの一般廃棄物排出量について  
2017年度実績値(180.666t)を維持する。

分別廃棄に関するアンケートにおいては、



ほぼ完璧



※2018年度EMS運用管理アンケート(市ヶ谷)より

ところが、

食事後のゴミは分別されずにレジ袋にまとめて捨てられていることが多いの。



## 食事の後はどうしたらいいの？

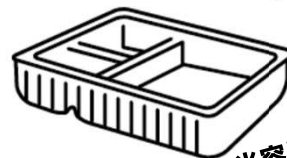
燃やせるゴミ

割り箸は、燃やせるゴミ、PP袋は燃やせないゴミに

食事後は約15秒  
できちんと分別  
廃棄。

Combustible trash

残さずに食べ切ろう！

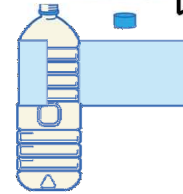


食事後の弁当容器



レジ袋

学校には  
マイバッグ  
マイボトル



ペットボトルラベルは燃やせないゴミ、  
本体とキャップは専用容器に

燃やせないゴミ

Non-Combustible trash

廃棄物削減及び分別廃棄は地球温暖化や海洋汚染の防止等の環境保全効果やコスト削減等の経済効果をもたらすことが期待されます。



法政大学は、「持続可能な地球社会の構築を目指す拠点」としてSDGs (持続可能な開発目標)について重要課題と関連付けて取り組んでいきます。

2019年7月 法政大学環境センター

TEL:03-3264-5681, E-MAIL:ickankyo@hosei.ac.jp